

日本史〔前期A方式(1/29)〕

設問		解答例
I	1	① ア
		② ソ
		③ ツ
		④ テ
		⑤ チ
		⑥ ク
		⑦ キ
	2	(a) 卑弥呼
		(b) 百済
		(c) 武
		(d) 屯倉(官家)
		(e) 群集墳
		(f) 隋
		II
		② ソ
		③ エ
		④ ウ
	2	(a) 寝殿造
		(b) 夢窓疎石
		(c) 細川勝元
		(d) 林下
		(e) 枯山水
		(f) 花の御所(花亭・花營)
		(g) 同朋衆
		(h) ウ
III	1	① キ
		② ケ
		③ タ
		④ サ
		⑤ テ
		⑥ ク
		⑦ ネ
		⑧ ア
	2	(a) 日清戦争
		(b) ウ
		(c) ウ
		(d) イ
		(e) 大逆事件
		IV
		② 50
	2	(a) 寛永 <small>の飢饉</small>
		(b) 熊沢蕃山
		(c) 助郷
		(d) 田畑永代売買禁止令
		(e) 田畑勝手作禁止令
		(f) 天明 <small>の飢饉</small>
		(g) 打ちこわし
		(h) 旧里帰農令
		(i) 七分積金(七分金積立)
		(j) 人返し令(人返しの法)

日本史〔前期B方式(1/30)〕

設問		解答例		
I	1	① 打製		
		② 鉄		
		③ 須恵器		
		④ 鞍作鳥(止利仏師)		
		⑤ 白鳳		
		⑥ 高松塚		
		⑦ 天平		
		⑧ 塑		
		⑨ 寄木造		
		⑩ 大仏(天竺)		
	2	(a) ア		
		(b) ア		
		(c) 蘇我氏		
		(d) 条坊制		
		(e) ア		
		(f) エ		
		(g) 平重衡		
		II	1	① ム
				② キ
				③ イ
		④ メ		
		⑤ ニ		
		⑥ フ		
		⑦ テ		
		⑧ ノ		
		⑨ ソ		
		⑩ ス		
		⑪ ク		
	2	(a) 寧波の乱		
		(b) 土倉役(倉役)		
		(c) 馬借		
		(d) 糸割符制度		
		(e) 掛屋		
		(f) 南鐐二朱銀		
III	1	① イ		
		② カ		
		③ ケ		
		④ ソ		
		⑤ ナ		
		⑥ ニ		
		⑦ コ		
		⑧ ヒ		
		⑨ フ		
		⑩ ノ		
	2	(a) 一世一元の制		
		(b) ア		
		(c) 明治六年の政変(征韓論政変)		
		(d) ウ		
		(e) 西南戦争		
		(f) ウ		

日本史〔中期(2/16)〕

設問	解答例
I	① 7
	② 2
	③ 5
	④ 6
	⑤ 4
	⑥ 2
	⑦ 4
	⑧ 2
	⑨ 1
II	⑩ 3
	⑪ 1
	⑫ 6
	⑬ 5
	⑭ 2
	⑮ 1
	⑯ 5 ⑯、⑰は順不同
	⑰ 6 ⑯、⑰は順不同
	⑱ 2
III	⑲ 1
	⑳ 2
	㉑ 4
	㉒ 3
	㉓ 1
	㉔ 4
	㉕ 3
	㉖ 2
IV	㉗ 1
	㉘ 6
	㉙ 2
	㉚ 4
	㉛ 1
	㉜ 4
	㉝ 4
	㉞ 4
V	㉟ 2
	㊱ 3
	㊲ 1
	㊳ 3
	㊴ 3
	㊵ 4
	㊶ 1

日本史〔前期A方式 1/29〕

I

ヤマト政権の政治や外交を題材とする問題。問1①倭の奴国が当時の中国の後漢の都洛陽で印綬を受けたことや、後漢に生口160人を献上したことが、『後漢書』東夷伝に記されている。この印綬とされるものが江戸時代に福岡県志賀島で発見された。③5世紀頃に倭の五王(讃・珍・済・興・武)が当時の中国南朝である宋などに朝貢したことが『宋書』倭国伝に記されている。問2(a)小国連合である邪馬台国の女王は卑弥呼。当時三国時代(魏・呉・蜀)であった中国の魏に遣使し、親魏倭王の称号と金印を授かったことが『魏志』倭人伝に記されている。(c)倭の五王の武は雄略天皇に相当する。済は允恭天皇、興は安康天皇だと推定されている。(d)朝廷の直轄領が屯倉。その直轄民が名代・子代である。豪族の私有地は田荘で、私有民が部曲である。

II

古代・中世の庭園をテーマとする問題。問1①奥州藤原氏の三代はそれぞれ、初代の清衡(中尊寺金色堂を建立)、2代目の基衡(毛越寺を建立)、3代目の秀衡(無量光院を建立)である。次の藤原泰衡の時代に、源義経をかくまったとして源頼朝に滅ぼされた。その拠点となった平泉は2011年に世界遺産に登録されている。問2(b)天龍寺や西芳寺の作庭をしたのは夢窓疎石。夢窓疎石は京都五山第1位の天龍寺を開山した臨済僧で、足利尊氏らが帰依した。(c)応仁の乱での東軍の総大将は細川勝元。西軍の総大将は山名持豊(宗全)である。(e)水を用いなくて石組や白砂により自然を表現する作庭様式は枯山水。虎の子渡しの俗称のある龍安寺石庭、深山幽谷を表現した大徳寺大仙院庭園がその代表例となる。(h)室町幕府における侍所の長官には赤松・一色・山名・京極の4家(四職)が任じられた。管領に任じられるのが細川・斯波・畠山の3家(三管領)である。

日本史〔前期B方式 1/30〕

I

古代の文化を題材にした問題。問1①旧石器時代に打ち欠き、剥離などによって製作された石器は打製石器である。縄文時代になると磨製石器が使用されるようになった。④法隆寺金堂釈迦三尊像や飛鳥寺釈迦如来像(飛鳥大仏)の製作者は鞍作鳥(止利仏師)とされる。⑧木を芯に粘土で塗り固めた像は塑像。東大寺日光・月光菩薩像や東大寺法華堂執金剛神像などが塑像である。⑨多くの工人で部分を製作して全体をまとめる技法は寄木造。平等院鳳凰堂阿彌陀如来像は定期により寄木造で製作された。問2(b)鹿の骨を焼いて、そのひび割れの形で吉凶を判断する占いはアの太占。イの祓は災厄や罪などをはらうための神事。ウの禊は川などの水に入る潔めること。エの盟神探湯は熱湯に手を入れて火傷するかで真偽を判断する神判方法。(d)碁盤目状に都市を区画する制度は条坊制。平城京は唐の長安を模倣し、中央の南北に走る朱雀大路の東に左京、西に右京と分けられていた。(g)平清盛の子で、反平氏の動きを見せた南都を攻撃したのは平重衡。他に平清盛の子には保元の乱や平治の乱で活躍した平重盛や、高倉天皇の中宮で安徳天皇の生母である徳子がいる。

II

室町時代の都市と、江戸時代の商人を題材にした問題。問1①堺を合議制で運営した有力商人は合会衆。堺のその状態をガスパル＝ヴィレラには『耶蘇会士日本通信』で「ベニス市の如く」と評されている。④⑤一向宗の寺院などを中心に寺内町が形成され、堀などをめぐらして自衛し、一向一揆の拠点にもなった。特に石山本願寺の顕如(光佐)は11年にわたり織田信長に抗戦する石山戦争を展開した。⑧江戸で越後屋呉服店を開いたのは三井高利。「現金(銀)かけねなし」の商法で繁盛した。三井家は明治時代以降に

III

明治時代後半の社会経済を題材とする問題。問1①この時期の大蔵卿・大蔵大臣は松方正義。彼の展開した財政は松方デフレとも呼ばれ、深刻な不況により自作農が小作農に転落もした。②1897年の貨幣法は第2次松方正義内閣により出され、これにより金本位制に移行した。日本は松方正義が大蔵卿であった1885年に銀兌換銀行券を発行し、銀本位制となっていた。④小型の国産力織機を考案したのは豊田佐吉。彼によりトヨタ自動車の基礎が築かれた。⑦⑧高野房太郎・片山潜により結成されたのは労働組合期成会。しかし、1900年に出された労働運動を取り締まる治安警察法により衰退して、その翌年に消滅した。問2(d)横山源之助の著作はイの『日本之下層社会』。アの『職工事情』は農商務省の刊行。ウの『あ・野麦峠』は山本茂実の著作。エの雑誌『日本人』は三宅雪嶺らにより結成された政教社の機関誌で、高島炭鉱の労働問題の惨状を報じた。

IV

江戸時代の飢饉を題材として、それに史料を絡めた問題。問1②飢饉の対策として、幕府は各地に社倉・義倉を設置させて、諸藩にも1万石につき50石の割合で米穀を備蓄させた。問2(d)農地の売買を禁止する田畑永代売買の禁止令の史料。本百姓の没落防止のために出されたが質流れで崩れた。明治時代の1872年に田畑永代売買の禁止令は解かれ、地券が発行された。(e)作物栽培の内容を制限する田畑勝手作りの禁の史料。これも明治時代の1871年に廃止された。(i)町費である町入用を節約させ、その節約分の7割を積み立てさせた七分積金の史料。その積み立ての運用は新設の江戸町会所が実施した。(j)江戸に流入した下層民の農村への帰郷を強制した人返しの法の史料。これにより農村の人口を確保して、天保の飢饉により荒廃した農村の再建を計画した。

財閥に成長した。⑨当時大坂から江戸へ商品を運送していたのは菱垣廻船。のちの近世後期には樽廻船が主流となった。⑩流通の独占などをめざして江戸で結成されたのは十組問屋。大坂に結成されたのが二十四組問屋である。問2(a)1523年に堺・博多の商人とそれぞれ結びついた西国大名(細川氏・大内氏)の衝突事件は寧波の乱。これにより大内氏が貿易を独占することになった。(d)朱印船貿易での輸入生糸の購入価格を決定するために特定の商人である糸割符仲間一括購入させる制度は糸割符制度。糸割符仲間は堺・長崎・京都と、後年に参加した江戸・大坂で構成される。

III

明治政府の確立と自由民権運動を題材にした問題。問1①領地・領民が天皇に返還されたのは版籍奉還。旧大名には家禄を与えて、地方長官である知藩事に任命して藩政に当たらせ、形式的だが全国の支配が完成した。②③版籍奉還後に、薩摩・長州・土佐による御親兵の軍事力を背景に全ての藩を廃止したのは廃藩置県。これにより旧大名の知藩事は罷免され、中央政府派遣の府知事・県令が地方行政の担当となり、実質的に国内の政治統一が完成した。⑦下野していた木戸孝允、板垣退助と、1875年に大阪で会談したのは大久保利通。これは大阪会議と呼ばれ、その結果として両者は政府へ復帰し、漸次立憲政体樹立の詔も出された。問2(c)征韓論争で西郷隆盛・板垣退助・後藤象二郎・藤原新平・副島種臣らが下野したのは明治六年の政変。留守政府の中心であった西郷隆盛の下野により、以後は内地優先派の大久保利通が政権を主導した。(e)1877年に鹿児島県で発生した土族反乱は西南戦争。下野した西郷隆盛の私塾である私学校の生徒らが、西郷隆盛を擁して挙兵した。(f)ウの漸次立憲政体樹立の詔は、国会開設の勅諭の誤り。漸次立憲政体樹立の詔は1875年の大阪会議後に出された。

日本史〔中期 2/16〕

I

飛鳥時代～奈良時代の歴史年表を題材にした問題。問1ア646年は改新の詔の宣布。公地公民制への移行がめざされた。イ670年は庚午年籍の作成。天智天皇による最初の戸籍となる。ウ689年は飛鳥浄御原令の施行。持統天皇による。エ701年は大宝律令の制定。刑部親王や藤原不比等らによる。オ722年は百万町歩開墾計画。成果はなく、翌年に三世一身法が制定された。問2(a)八色の姓は真人・朝臣・宿禰・忌寸・道師・臣・連・稻置。(b)藤原京で政治を行っていない天皇は元正天皇。藤原京から平城京へ遷都したのは元明天皇で、元明天皇より後に即位した天皇は元正天皇となる。(c)三世一身法が出された時代の政権担当者は長屋王なので②。①は藤原不比等、③は橘諸兄、④は藤原仲麻呂の説明。

II

中世の守護と地頭に関する史料を題材とした問題。史料Aは観応半済令、史料Bは応安半済令、史料Cは地頭請所についての内容。問1③本所は実質的な荘園の支配権を持つものこと。①官省符荘は太政官符や民部省符により不輸が公認された荘園。②国免荘は国司により不輸が認可された荘園。④領家は開発領主が荘園を寄進した先の貴族や寺社などのこと。問2観応半済令では近江・美濃・尾張に対し、守護が荘園・公領の年貢の半分を軍事費として取得できる権限を認めた。問4史料Aは観応半済令で1352年に出された。①は足利直義の敗死(1352年)から足利尊氏が死去(1358年)するまでの間なのでこれに該当する。

III

桃山文化と江戸時代の医学を題材にした問題。問1金属製の活字印刷術はヴァリニャーニにより伝えられた。ガスパル＝ヴィレラは堺を「ベニス市の如く」と評したことで知られる。天草版(キリシタン版)はローマ字体で刊行された。問2古医法で人体解剖図録の『蔵志』を著したのは②山脇東洋。③前野良沢や杉田玄白ら

はオランダ語の『ターヘル＝アナトミア』を翻訳して『解体新書』を訳述した。問4(e)I青木昆陽は8代將軍徳川吉宗の指示でオランダ語を学び、甘藷の栽培法の『蕃藷考』を1735年に著した。II蛮書和解御用が高橋景保の建議により設立されたのは1811年。III高橋景保の父である高橋至時らが完成させた寛政暦は1798年から使用された。

IV

日本が開国した時期の歴史年表を題材にした問題。問1ア日米和親条約を締結した老中は阿部正弘。イ通商条約の調印勅許を得られなかった老中は堀田正睦。エ坂下門外で襲撃された老中は安藤信正。問3(b)1862年の文久の改革についての問題。④文久の改革で参勤交代が緩和された。①安政の改革についての説明で誤り。②政事総裁職には松平慶永を、將軍後見職には徳川慶喜を、京都守護職には松平容保を任命したので誤り。③五品江戸廻送令は1860に出されたので誤り。(c)四国艦隊下関砲撃事件はイギリス・フランス・アメリカ・オランダによる攻撃。(d)八月十八日の政変についての問題。④禁門の変の敗退がきっかけで長州征討は起こったので誤り。

V

明治時代の不平等条約の改正を題材にした問題。(d)大津事件についての問題。③大審院長の児島惟謙は政府の圧力に屈せず、犯人の津田三蔵を適法となる無期徒刑に処させた。(f)イギリスと調印された合意は日英通商航海条約。これにより領事裁判権が廃止された。(g)②③④は日清戦争とその講和条約の内容。日英通商航海条約は日清戦争前に結ばれたので日清戦争前の内容である①が正解。(h)1911年に結ばれた新条約は日米通商航海条約。この時の全権は小村寿太郎で、関税自主権の完全回復を実現した。のちにこの条約は1939年にアメリカより廃棄通告されて失効となった。